

ボランティア活動報告 目次

タイトル	ページ
佐方商店街夜市	1
スイーツハウス（山陽女子短期大学サークル）活動	3
佐方地区清掃活動	6
佐方花いっぱい運動	7
チャリティ神楽	9
子ども餅つき大会	11
とんど祭り	13
宮島街道DRIVE&LOVEまつり	14
五日市八幡神社にぎわいつくり	15

地域貢献・地域連携活動報告

活動名	佐方商店街夜市（地域連携事業：佐方自治会行事への参加）
目的または趣旨	地域連携事業：佐方自治会行事への参加の一つとして 佐方商店街の活性化のため夜市への出店
共催団体名および 共催の経緯 (依頼理由)	佐方商店街の会長さん代理で、楽学堂の出口様が来学され、7/20(土)夏祭りに作品でも何でも良いので、学生さんに出品してほしいと依頼があった。これは、事前に参加表明していなかったが承諾した。
年・日時～年・日時	2013年7月20日18～21時
活動拠点	佐方商店街 学楽堂前（出口商店前）
参加者 教員（責任者には★） 学生（所属・学年・人数）	教員★重田教授、中田助手 学生：食物栄養学科2年生が1名、1年生が3名
活動内容	<ul style="list-style-type: none"> ・以前から協力を求められていた吉和の和田氏からの依頼でルバーブジャムを販売する。 ・販売の前に、食物栄養学科でジャムの試作を繰り返し行い、ルバーブジャムがどんなものかを確認した。 ・学生3人が組になって、町の広場にジャムを売り歩いた。 ・30個（1個400円、市販では500-600円）のジャムの内20個売れた。あまり認知度が無いのが要因かもしれない。 ・町の方々もお礼を言いに来てくれた
反省・コメント	参加した学生は既に高校の時に経験していた。手際よく連携取りながら、声をかけ販売していた。 スタッフジャンパーを用意していなかった。販売場所が急な坂だったので、机を置くのに苦労した。事前に調査しておくべきだった。
添付書類	(有) 無)



地域貢献・地域連携活動報告

活動名	スイーツハウス（山陽女子短期大学サークル）活動
目的または趣旨	地産地消をテーマに、広島県産の食材を使用した焼き菓子を製造、販売する。
共催団体名および共催の経緯（依頼理由）	JA 全農ひろしま
年・日時～年・日時	2013年7月6日（土）、9月21日（土）、12月8日（日） 2014年2月22日（土） 計4回 ※12月8日（日）はとれたて元気市のみで販売
活動拠点	JA 産直ふれあい市場、JA交流ひろば「とれたて元気市」
参加者 教員（責任者には★）	教員★中田助手 ★西庄助手 食物栄養学科 学生12名
活動内容	許可を受けた短大の施設で製造した菓子の販売
反省・コメント等	販売するもの、販売日を教員がある程度指示してしまっていたので、学生主体で決めさせた方が良かった。 長期休暇中など学生が帰省するので予定を組むのが難しかった。
添付書類	(写真 <input checked="" type="checkbox"/>)



2013年7月6日(土) 元氣市



2013年7月6日(土) 元氣市



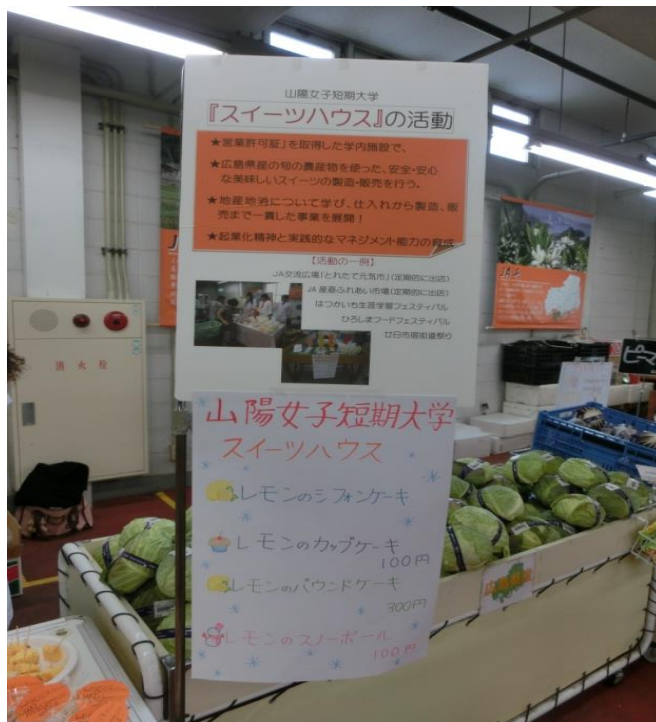
2013年7月6日(土) ふれあい市場



2013年9月21日(土) 元氣市



2013年9月21日(土) ふれあい市場



2013年12月8日(日) 元気市



2014年2月22日(土) 元気市

地域貢献・地域連携活動報告

活動名	地域連携事業：佐方地区清掃活動
目的または趣旨	佐方自治会行事への参加の一つとして、清掃活動に参加した
共催団体名および 共催の経緯 (依頼理由)	主催：佐方地区住民 経緯：左方本町町内会長と協議し、同地区に居住している寮生も清掃活動に参加することを決めた。
年・日時～年・日時	11月16日 6時50分寮1階に集合 7時00分清掃活動について説明 7時15分～45分 清掃活動
活動拠点	学校周辺道路
参加者 教員（責任者には★） 学生（所属・学年・人数）	学生部長・寮母 寮生： 寮以外の学生：6名
活動内容	寮生・寮以外のボランティア学生を、事前に寮長が4班に分けており、清掃区域別に清掃に従事した。 雑草は少なく、殆どが枯葉の落ち葉拾いであった。
反省・コメント	事前に町内会長さんと打ち合わせをしておいたので、当日の朝には学生の清掃区域の配分ができており、簡単な説明のみで作業に取り掛かることができた。 地区の多くの方々から山女が参加していることに大変喜んで頂いた。地域の方たちと共に清掃作業をすることができ、地域の方たちと少しずつ交流ができると感じた。初めてのことで、当初は違和感を感じていたが、少しずつ慣れてきたようなので次回も参加させたい。
添付書類	(有 <input type="checkbox"/> 無 <input checked="" type="checkbox"/>)

地域貢献・地域連携活動報告

活動名	地域連携事業：佐方自治会行事「佐方花いっぱい運動」
目的または趣旨	佐方自治会行事への参加の一つとして「佐方花いっぱい運動」にボランティアとして参加
共催団体名および 共催の経緯 (依頼理由)	主催：佐方自治体 経緯：5月に佐方自治会と協議し、決定した参加行事の一つ
年・日時～年・日時	2013年11月16日（土）9時～10時
活動拠点	佐方地区
参加者 教員（責任者には★） 学生（所属・学年・人数）	水野敦子教授★、学長 人間生活学科1年6名、臨床検査学科1年3名、2年6名
活動内容	佐方地区の花壇の花植えと、佐方川の土手の落葉の清掃活動を行った。
反省・コメント	自治会担当者の橋本園芸橋本和宗氏との打合せでは午前9時に集合とのことであったが、9時にはすでに活動が始まっていた。自治会の方によると、自治会では何でも予定より開始時間が早いとのこと、そのことに気付かなかったことが反省点であった。 活動後の学生たちの感想は、小学生が一生懸命花を植えていて一緒にやって楽しかったことと、時間が短くあっという間に終わったというが多かった。学生たちにとって、小学生や地区の方たちと交流しながらボランティアができたことはよかったし、終了後、自治会の方からも学生が参加してくれてよかったとの感謝の言葉をもらい、学校に植えるようにと花の苗をもらった。
添付書類	<input checked="" type="checkbox"/> 有 無



地域貢献・地域連携活動報告

活動名	「チャリティ神楽」のボランティアスタッフ
目的または趣旨	佐伯区民文化センターで開催される「チャリティ神楽」（自死遺児の支援団体「春風フェスタ」の活動再開に向けて資金を集めることが趣旨）に、地域の大学としてボランティア学生を派遣し、協力する。
共催団体名および共催の経緯（依頼理由）	主催：チャリティ神楽実行委員会 後援：広島市教育委員会 協賛：五日市商工会、廿日市商工会議所 経緯：今回のイベントを企画された、ちゅうごく産業創造センターの木村宜克氏より、面識のあった有吉先生を介して、地域の大学として本学にボランティアスタッフ参加の要請があった。9月25日に木村氏が来学されて高田と面会し、SRV部員を中心に数名の学生ボランティアを募ることとした。
年・日時～年・日時	2013/11/8（金）18時～ 臨床検査学科別館にて木村氏と学生らとの顔合わせ、打ち合わせ（中国新聞社の取材あり） 2013/11/16（土）10時～ 当日の手伝い
活動拠点	臨床検査学科別館（打ち合わせ）、佐伯区民文化センター（当日）
参加者 教員（責任者には★） 学生（所属・学年・人数）	連絡窓口：★高田 打ち合わせ時の担当：★小野寺 臨床検査学科学生5名（2年生1名、1年生4名） ※当日参加したのは学生のみ
活動内容	当日の会場受付、当日券窓口、会場整理等の手伝い
反省・コメント （学生の感想も含めて）	チャリティ神楽は盛況の内に終わったが、諸々の依頼、意見交換、情報伝達（木村氏との間、学生との間）が十分にできていなかった点が反省される。高田から積極的に学生ならびに教職員に情報提供と協力を求めておくべきだった（活動期間の最中に高田が入院するという事態があり、そのことを痛感した）。今回の企画の成功は木村氏の企画力と実行力、何よりも周囲に働きかける力が大きかったと思われる。 （なお、ボランティアとは別だが、将来的な「春風フェスタ」活動再開にあたって、ピアサポートの体制づくりや研修など、臨床心理的コミュニティ支援に関する要請もあったことを付言しておく）。
添付書類	<input checked="" type="checkbox"/> 有 無

遺児交流会復活願ひ神楽

ツイート 2

いいね! 0

@Chugokushimbunさんをフォロー

病气や自死で親を亡くした中四国地方の若者の交流会「春風フェスタ」復活に向け、広島市の会社員や学生たちが16日午後5時から、佐伯区民文化センターで運営資金集めの神楽公演を企画している。フェスタは資金難で2005年春に休止した。会場も探している。

安芸高田市の横田神楽団が3演目を舞う。当日午前10時から会場で整理券を配る。観覧料1500円。併せて募金も募り、フェスタの運営資金に充てる。



フェスタは1999年3月、親を亡くした大学生が始めた。小中高生や大学生計約100人を無料で市内の公共施設に招き、2泊3日の日程でゲームやそば打ちをしていた。

2歳のとき、父親が病気で亡くなった会社員岡本憲悟さん(32)＝兵庫県明石市＝は、03年の実行委員長を務めた。「悩みを打ち明けられる仲間と出会う大切な場だった。ありのままの自分を出せた」と振り返る。

運営資金は企業や個人の寄付、街頭募金で賄っていた。不況の影響で確保が難しくなり、6回で途絶えた。

02年にチャリティー神楽を開いて運営資金集めに協力した会社員木村宜克さん(57)＝南区＝が今回の復活を提案。山陽女子短大(廿日市市)のボランティアサークルが、神楽公演会の会場整理を手伝い、募金活動もする。

木村さんは「就職難や貧困の広がりで苦しむ若者が多い。遺児はなおさら環境が厳しく、フェスタがいまこそ必要だ」と訴える。

資金集めの目標は100万円。開催は15年春を目指す。「意義を知ってもらい、協力の輪を広げたい」と木村さん。宿泊施設を持つ大学や企業に会場の提供も募っている。木村さん＝電話090(1184)2482。

【写真説明】神楽公演会に向け山陽女子短大の学生と打ち合わせをする木村さん(左から3人目)

地域貢献・地域連携活動報告

活動名	子ども餅つき大会（地域連携事業：佐方自治会行事への参加）
目的または趣旨	佐方自治会行事への参加の一つとして子ども餅つき大会(11月23日)にボランティアとして参加
共催団体名および共催の経緯(依頼理由)	主催：佐方自治会 経緯：5月に佐方自治会と協議し、決定した参加行事の一つが子ども餅つき大会であった。 10月及び11月に担当の榎本氏と活動内容について連絡をとった。
年・日時～年・日時	11月23日 9:00-12:30
活動拠点	佐方八幡神社境内
参加者 教員（責任者には★） 学生（所属・学年・人数）	責任者：★石永正隆 人間生活学科1年2名、食物栄養学科1年3名、SRV3名（臨床検査学科2年）
活動内容	手伝った作業は以下の通りである。 ・ 先ずいもの泥落とし作業 と いもを適当な大きさに切って、焼くためにアルミで包み焼く作業 ・ 餅を蒸す作業および餅を丸める作業 ・ 豚汁の調理作業と配膳
反省・コメント (学生の感想も含めて)	殆どの学生には初めての経験だったようであったが、とても楽しんで手伝いに取り組んでいた。芋を洗うときに腐っているのか腐っていないのか判別できないようであったので、泥のついた野菜類を洗うという作業は今まで経験していないことが伺えたが、良い体験になったと思われる。自治会の方から、大変喜んでいただいた。積極的に学生諸君に話をかけてくれ、学生もそれに受け答えしながら作業していた。また、小学校の校長先生からもこうして学生さんが小学生達と一緒にやってくれることは大変ありがたい、来年も是非お願いしたいということであった。以下学生の感想 多彩な人の中で馴染むことができ、たくさん学び人生観や大学のことを話せて光栄ですし、皆さんと作業して一致団結し大成功したと思います。来年も参加できたら、今年よりもテキパキ動ききって後輩もいるので先輩らしくやるべきことをやれるように頑張ります。とっても言い体験をした。またこういう行事に参加したい。地域の行事中で貴重な体験ができるのはとても良いことだと思いました。子どもさんたちも餅丸めなど喜んで積極的に行っていたようすを見て、地域での行事が改めて良いものだと感じる事ができてとても嬉しかったです。反省点：事前に三角巾とエプロンを持参するように伝えていたが、忘れてきた学生がいたので、持参する物がある場合は、1-2日前に確認する必要がある。
添付書類	(有) 無)



地域貢献・地域連携活動報告

活動名	とんど祭り（地域連携事業：佐方自治会行事への参加）
目的または趣旨	地域連携：佐方自治会行事への参加の一つとして とんど祭りへのボランティア
共催団体名および 共催の経緯 (依頼理由)	主催：佐方自治会 経緯：5月に佐方自治会と協議し、決定した参加行事の一つ 12月に橋本氏に連絡。1月6日新田氏より内容連絡
年・日時～年・日時	2014年1月11日12時30分から16時30分
活動拠点	佐方小学校 校庭
参加者 教員（責任者には★） 学生（所属・学年・人数）	教員★石永教授 学生：SRVから4名（臨床検査学科1年2名、2年2名）
活動内容	・受付と焼き鳥・焼き芋の販売
反省・コメント等	当初大寒波と予想されていたが、天候に恵まれ大いに賑わった。 参加した学生は、積極的に自治会の方々に声を掛け、仕事の手伝いを申し出ていた。挨拶もしっかりしていて、自治会の方からお褒めの言葉を頂いた。以下学生諸君の感想 今回のような楽しいボランティアは初めてだった。何をしても良いかわからなかったが、親切に教えて頂いた。地域の方々から「ありがとう」と感謝の言葉をたくさん頂いてとても嬉しかった。地域の方々の役に立てるとても良かった。敬語をちゃんと使えなかったのが反省点であった。 後輩へのアドバイス： ・地域の方々に挨拶をしっかりする。 ・明るく話す。 ・あくまでもボランティアなので、お手伝いする気持ちを忘れない。
添付書類	(有 <input type="checkbox"/> 無 <input checked="" type="checkbox"/>)

地域貢献・地域連携活動報告

活動名	地域連携事業：宮島街道DRIVE&LOVEまつり
目的または趣旨	交通事故ゼロを目指したキャンペーン
共催団体名および 共催の経緯 (依頼理由)	主催： 広島県警察本部、NEXCO 西日本、広電宮島ガーデン etc. 経緯：本学学生部に若い人のアイデアを出していただいて、八幡神社秋祭りを盛り上げて欲しい旨要望があった。
年・日時～年・日時	2013年9月22日（日）12時30分～13時
活動拠点	宮島サービスエリア
参加者 教員（責任者には★） 学生（所属・学年・人数）	学生部長 Sanjo College Support Club 6名
活動内容	10時から15時まで開催された舞台イベントに、Sanjo College Support Club 6名が出演し、30分間踊りを披露してイベントを盛り上げた。
反省・コメント	地域の方たちと交通安全活動に協力でき、地域の方たちと交流ができた。 できれば毎年実施していきたい。
添付書類	(有 <input type="checkbox"/> 無 <input checked="" type="checkbox"/>)

地域貢献・地域連携活動報告

活動名	地域連携事業：五日市八幡神社にぎわいつくり
目的または趣旨	八幡神社秋祭りを盛り上げ、地域活性に役立てる
共催団体名および 共催の経緯 (依頼理由)	主催：五日市地域行事推進協議会 経緯：本学学生部に若い人のアイデアを出していただいて、八幡神社秋祭りを盛り上げて欲しい旨要望があった。
年・日時～年・日時	2013年7月3日（水）～10月13日（日）
活動拠点	五日市八幡神社
参加者 教員（責任者には★） 学生（所属・学年・人数）	学生部長 Sanjo College Support Club 7名 学生：6名（臨床検査学科2年生）
活動内容	実行委員会の会議に最初から参加し、お祭りを盛り上げるアイデアを出し、旧来の方達と意見交換して、イベントを企画し、実施した。本学から、総合司会、飲食コーナー（フランクフルト・やきとり・ラーメン）・ゲームコーナー（カラーボールすくい・ヨーヨーつり・サイコロゲーム）の出店をした。 実行委員会には、学生部長とSCSクラブ員が参加した。 実行委員会回数：6回
反省・コメント	今までになく、お祭りへの参加者が多く、協議会の方たちに大変喜ばれた。 地域の方たちと共に発案企画することを通じて、地域の方たちと交流ができた。 できれば毎年続けていきたい。
添付書類	(有 <input type="checkbox"/>) (無 <input checked="" type="checkbox"/>)